



平成21年6月2日  
南海都市創造株式会社

都会の杜でホタルが舞う幻想的な空間が、今年も広がります

「なんばパークス」でホタル鑑賞会を開催します

南海グループの南海都市創造(社長 亀井 康年)では、平成21年6月6日(土)、7日(日)に、「ホタルの夕べ」と題したホタル鑑賞会を「なんばパークス」パークスガーデン5階、「せせらぎの杜」において開催します。

今回で6回目となる同鑑賞会は、毎年初夏の季節イベントとして好評をいただいております。都心にいながらホタルの幻想的な光をお楽しみいただけます。また、ホタルの生態について「ゲンジボタル研究会」会員が解説することで、参加されたお客さまに自然環境の保護について興味・関心を深めていただきます。

詳細は別紙のとおりです。



3月7日のホタル放流の様子



「ホタルの夕べ」イメージ

< 別 紙 >

ホタル鑑賞会「ホタルの夕べ」について

1．開催日時 平成20年6月6日(土)、7日(日) 20時～22時

2．開催場所 パークスガーデン5階「せせらぎの杜」

3．参加費 無料

4．定員 各日約300名(整理券配布)

5．協力 ゲンジボタル研究会

6．内 容

- (1) 1回あたり70～80名のお客さまを対象に、ホタルの生態などについての解説を聞きながら、ホタルの様子を鑑賞していただきます。
- (2) 1回の鑑賞時間は約20分で、各日4回実施します。
- (3) ホタルの種類は「ゲンジボタル」で、約300匹程度の予定です。
- (4) ホタルの幼虫の放流式を3月7日に実施しております。その際放流したホタルの幼虫は、なんばパークス近隣の日本橋小学校の児童が、今年の鑑賞会後から里親として育てました。
- (5) 鑑賞を希望されるお客さまは、当日17時からパークスガーデン8階円形劇場横で先着300名さまに配布する整理券をお持ちください。
- (6) イベントに参加された方には、ホタルの生態についての資料をお渡しします。

7．備 考

- (1) 開催当日「せせらぎの杜」は、ホタルの成育・安全のため一般のお客さまの出入りをご遠慮いただきます。
- (2) 小雨の場合でも決行いたします。  
(荒天の場合は鑑賞形態を変更して7階パークスホールにて開催します)
- (3) ホタルの生態について
  - 6月ごろ 産卵
  - 7月ごろ 30日ほどで卵が孵化し、水に入る
  - 8月～3月ごろ 水中で生活。幼虫の間、カワニナなどを食べて成長  
5～6回の脱皮を経て、体調2～3センチになる
  - 4月～5月ごろ 主に雨天の夜、上陸して土にもぐり、さなぎになる
  - 5月～6月ごろ 約40日で羽化し、地上にはい出して飛び立つ  
成虫で生きる期間は約1週間。セミなどと同様、非常に短い命であり、その間に交尾・産卵し子孫を残す

以 上